塩浦慎理さんが東京2020オリンピックの代表選手に決定しました

400メートルリレー

提供 イトマン東進

4月7日、東京五輪代表選考会を兼ねて行われた競泳の日本選手権・男子100メートル自由形決勝で、市内出身の塩浦慎理さん(イトマン東進)が5位に入り、11日に400メートルリレーの代表に選ばれました。五輪の代表選出は2016年のリオデジャネイロに続き2度目です。

「決勝進出そしてメダル獲得を目標に、本番まで準備します。伊勢原の皆さんの応援を力に頑張ります」と塩浦さんは意気込みを語りました。

担スポーツ課☎94-4628

西富岡・向畑(むこうばた)遺跡で縄文時代後期の埋没林

提供　かながわ考古学財団

全国でも珍しい縄文時代後期の埋没林が西富岡・向畑遺跡(西富岡)で発掘されました。昨年12月に、全長約10メートル・直径約60センチメートルのカエデが倒れた状態で発掘され、小さなものを含めると100点以上の樹木が出土。近くで発見された土器や火山灰の特徴から、縄文時代後期に地滑りが起きたことが原因で埋没したものと推定されました。

発掘調査を行っている公益財団法人かながわ考古学財団によれば、台地上で倒れた樹木が炭化しない状態で見つかるのは全国的にも大変貴重であり、当時の植物の生育環境などを知る重要な資料になるとのことです。

担教育総務課☎74-5109

ワケル先生の なぜなにリサイクル教室

混ぜればごみ　分ければ資源

間瀬内(まぜない)ワケル先生

プラごみゼロを目指して

2018年夏、鎌倉市の由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されたことが大きなニュースになりました。プラスチックによる海洋汚染は今、世界的な社会問題となっています。

このままのペースでごみが増え続けると、2050年までには、海にいる魚の重量を超えるプラスチックが海洋に流出すると言われているよ。

一人一人がごみを減らす意識を持ち、分別を徹底するなど、適切に排出することが大切なんだ。

プラごみを減らすためにできること

◇レジ袋を使わないようにマイバッグを利用◇ペットボトルなどのリサイクル◇地域清掃活動へ参加

担環境美化センター☎94-7502

市民リポート

花の蜜を吸うヒゲナガハナバチ

伊勢原の自然　初夏だけ会えるヒゲナガハナバチ

市民リポーター酒井道子さん

今回は、かわいいハチの話です。

体長14ミリメートル、ニホンミツバチより少し大きいハナバチで、4月から6月までの2カ月間しか会えません。

昨年4月初めに、野外でヒゲナガハナバチの雄を見ました。その後、外出自粛生活になり、我が家の庭にやってきたものをカメラで追いかけていました。5月になるとニシキウツギが咲きだし、花の中で花粉まみれで働いている雌をよく見るようになり、どんな昆虫なのだろうと思い、調べてみました。

雄と雌の違い

名前にもあるヒゲとは触角のこと。雄は触角が長く、体長ほどありますが、雌の触角は長くありません。

雄は雌よりも10日ほど早く4月から出現し、雌が出てくるのを待ち構えています。雄は子孫を残すために活動し、6月初めには死に絶えます。雌は6月中旬ごろまで巣作りと産卵に頑張ります。

雄(上)と雌(下)

不思議な生態

このハチはニホンミツバチのような社会生活はしません。単独で粘土質の土に穴を掘り、奥に複数の産室を作ります。蜜と花粉を混ぜたどろどろの液体の上に1つずつ卵を産み、幼虫の餌とします。幼虫はそれを食べてサナギになり、秋には土の中で羽化し成虫になりますが春まではじっと穴の中で過ごしています。なんで無駄な時間を、と思ってしまいますが、何か意味があるのかもしれませんね。

調べてみてびっくり

今回、ヒゲナガハナバチをよく知るために、生命の星・地球博物館(小田原市)の昆虫の学芸員・渡辺恭平さんに問い合わせ、関係する論文を見せていただきました。図鑑で分からなかった生態が詳しく載っており、昆虫ってすごいと思うと同時に、その論文が80年前に発表されたものであることにも驚きました。

◇

あなたも野の花や庭先でこのかわいいハチに会えるかもしれませんね。

広告

伊勢原市のみなさん
ご葬儀費用の準備は大丈夫?-葬儀のための保険-

ご葬儀で家族に負担を掛けたくないという人が増えています。
そんな万一に備えてご家族の経済負担をサポートする保険が生まれました。
サン・ライフ・ファミリーの「ご葬儀サポートプラン」なら、あなたの万一に備えて、大切なご家族への負担をサポートいたします。
満40歳から84歳までが加入でき、95歳まで一年単位で更新が可能で、持病があっても、通院中でも、規定の告知事項に該当しなければどなたでもご加入いただけます。
保険料は月額2,000円からで、死亡保険金は60歳女性の場合167万2千200円支払われます。
また、介護の準備金として、要支援から支払い対象となる介護一時金付定期保険もございますので、まずは資料請求!お気軽にお電話ください。

資料請求・お問合せ
TEL.0463-22-2953
サン・ライフ グループ　関東財務局長(少額短期保険)第50号
株式会社 サン・ライフ・ファミリー
〒254-0024 平塚市馬入本町13-2
サン・ライフ・ファミリー　検索

広告

株式会社 横浜メディア アド

「広報いせはら」に広告を掲載しませんか?

※広告内容は「伊勢原市有料広告掲載に関する基本要綱」を遵守し、伊勢原市の事前審査を必要とします。

〈お問い合せ〉
TEL.045-450-1804
FAX.045-450-1817
YOKOHAMA MEDIA ADVERTISING 横浜メディア アド
〒221-0052 横浜市神奈川区栄町5-1 YCS5F http://soag.co.jp